

# だいたい 議会報告

## 夜間議会開催

九月議会では二十五日に夜間議会が行われました。議事に先立ち午後五時三十分から二十分間にわたり議場講演会が行われました。

### 議場講演会

「薬物乱用防止の取り組みについて」大内 啓子氏  
大阪府薬物乱用防止教育講師・学校薬剤師

大内さんは、大東市内の小中学校で、薬物乱用防止教室を行い、小学生には「タバコの害」、中学生には「薬物の恐ろしさ」をテーマにして指導をされています。

また、児童生徒たちへのアンケート活動で「幼稚園児の喫煙」問題や中学生では一日二十本の喫煙量になっている現実を話し、子どもにも配慮してベランダ喫煙(ホタル族)しても、その子どもの尿からニコチンが検出されたことなどを話してくださいますと、議場や傍聴



席からも驚きの声が上がりました。

薬物は今やネット販売などで、子どもでも簡単に手にはいるようになり、その裏側ではやくざなどが資金源として暗躍していること、薬物の見かけや名前なども若者をターゲットに改良されてきていることなども、資料に基づいてお話しされました。

最後に、入手経路が限られていた薬物も、今や身の回りにあることの現実を大人たちが理解して、子どもたちを守って欲しいと訴えました。

## 9月27日(日) 秋空の元、各小学校で運動会!

九月最終日曜日、晴天にも恵まれて、市内小学校の運動会が、ほぼ一斉に行われました。(大規模改修工事等の理由で運動会を別の日に行った小学校もあります)



今年、新型インフルエンザの流行や、体育館工事が九月にずれ込んだこともあり、開催日時の決定は最後まで学校関係者を悩ませていました。

日頃から練習してきたものを精一杯出そうと頑張る姿に、観客席からも惜しみない拍手が送られました。



市議員 ことぶき 勉 (つとむ)



市議員 とよあし 勝子 (かつこ)



市議員 とびた 茂 (しげる)

## 老人福祉大会 みんなで築こう 活力ある長寿社会

9月19日(土)午後1時~総合文化センター(多目的小ホール)



シルバークウィークの冒頭に老人福祉大会があり、参加しました。  
第一部の式典では、老人クラブ連合会副会長、中村ただかつ氏による開会の辞を始め、大東市長の挨拶・老人クラブ連合会会長の生田よしお氏挨拶と続いたあと、感謝状の贈呈がありました。  
次に、会場いっぱいに参加していた、金婚式を

迎えたご夫婦の名前を紹介し、祝い品贈呈が行われたのですが、金婚のお祝いをされるご夫婦は何と65組を数えました。  
夫婦仲良く会場を訪れることが出来るのは、健康の証。見習いたいと思いましたが。  
第二部では老人クラブ連合会 文化健康部会による社交ダンスが披露されました。

続いてはシンクタンクによる漫オ。そして、シャノン歌手の安土明中子さんと辻本貴子さんによるシャンソンを。オリジナルの「母」心探し、愛の賛歌、枯葉など。  
参加者も一緒に♪なだそうそう♪ふるさと等も合唱し、元気な声がかましました。

**法律相談**  
11月2日(月)7時~  
大東市民会館  
※先着順です  
871-5588まで

九月議会一般質問・飛田 茂

1 危機管理について

① 新型インフルエンザとマスクについて

6月議会の補正予算には「市民向けのマスク13万枚や救急隊用の感染防止機材、公共施設に配備する消毒用エタノール」など、15,680,000円を計上している。

今回、第2波の感染防止対策として、新たに、マスク及び防護衣、消毒液等の整備を図るとして、新たな予算計上がされているが、13万枚ものマスクがどうなったのか「市民向け」と説明しているが、この間に市民配布を行ったのか。13万枚のマスクの行方を教えてください。

説明では「窓口などの職員用」「集会・会合など」市民向けマスクではないとの印象を受けますが、どうして「市民向け」と説明したのか

② 新型インフルエンザ(第2波)とマスク、防護衣

今回の補正予算で計上されている第2波対策のマスクと防護服はどのように使うのか。パニックを防ぐのが行政の役割と考えるが、マスク等を大量に購入する、買い占めのような行動がパニックに繋がったのではないか。

また、事態は予防という局面を既に過ぎていて、予防を目的とした予算ではなく、市民の被害を最小限に食い止めることが求められている。

③ 感染防止から、被害を最小限に食い止める対策について。

事態は感染防止から被害をどうやって最小限に食い止めるかという局面に達している。市民が「感染したかな」と思ったときに、どこに相談したらよいのか、どういった行動を取るべき

かが周知されていますか。▼本市に、相談窓口はありますか。

▼どの番号に電話をかけたらいいですか。

▼どの病院に行けばいいのか、初期症状のときと、重症化したときとではどうか。

▼また、保険料を滞納しているも、資格証ではないが、インフルエンザ対策として、短期保険証が交付されていると思うのですが、間違いありませんか？

▼全ての医療機関が重症化事例、入院事例などの情報を共有できるよう、個人情報に配慮しつつ、確かな情報提供が実施されていますか？

▼大阪府の協力も得て、市内感染者の入院・医療体制を含め、体制の強化がされていますか。

▼新型インフルエンザワクチン接種が、必要な市民に遅滞なく行われるよう、準備されていますか。

▼抗ウイルス薬(タミフル等)や、検査キットなど、必要な薬品・医療資材の不足がないよう万全を期していますか。

▼また、ワクチンの接種費用の公費負担は実現できますか。

▼福祉施設への休業補償制度の創設を国に求め、市としても施設への休業補償の実施が必要と考えます。いかがでしょうか。

2 保育所待機児童について

入所希望者が速やかに入所できることがありますか求められていますか。

待機児童という言葉には、国が規定している概念が盛り込まれていると思うので、あえて「入所希望者」という言葉に置き換えて、待機児童を含めた表現で、質問したいと思えます。

また、先日の新聞報道でも、今年新たに25000人の待機児童が入所を必要としているとありましたが、まず、保育所の民営化路線についてお聞きます。

① 保育所民営化について

市長は、上三箇に続い

て、津の辺・寺川と保育所の民営化を推し進めていきますが、今後さらに進めるのか。25日の夜間議会でもとよあし議員が、このことを聞いていますが、もう一度明確にお答えください。

② 待機児童解消の取り組みについて

現在、入所希望者はどれくらいいますか。窓口の様子を見てみると措置基準を満たさない人も含めて、連日沢山の人が相談に来ているように思えるのですが。

前の議会でも質問していますが、「関東圏と違い、家の解放などが難しい」という、関西や本市の特徴があるのなら、民家を借り上げたり、公共の施設を開放するなどして保育ママなどの保育支援事業を行うことはできないでしょうか。

◆新しい保育所の開設

が困難であるならば、何らかの手立てが必要ではないですか。

③ 就労支援の意義と立場について

多くの家庭が「共働き」でないと生活ができないような、厳しい社会情勢が続いている中で、安心して働けるような保育行政が、ますます重要になっていきます。子育て世代の保育支援を、どのように考えていますか。

また、仕事探しや面接などの就職活動をするにあたって、一定の保育が必要で、就労支援の立場からも、措置にかかると言えるのではないのでしょうか。

④ 定員割れ問題について

人口密度や、職場の関係から、市内でも地域的な偏りがあると聞いていま